

まちの医療を守る 高梁市医療計画

～持続可能な地域医療体制を目指して～

高梁市医療計画とは

本来医療施策は国や県が主導するものですが、本市では人口減少や高齢化が急速に進行していることや、同じ市内でも地域によって医療機関へのアクセスのしやすさや高齢化の進み具合などの実情が異なっていることから、より地域の現状に沿った医療を提供するために、市民や医療従事者へのアンケートや統計情報などから現状を分析し、平成30(2018)年5月に市独自の「高梁市医療計画」を策定しました。

医療計画が目指す地域医療の姿

「地域医療はまちづくり」を基本理念に、次の4つの基本方針を掲げています。それらの基本方針に基づく取り組みは、「地域医療の高梁モデル構築に向けた100の検討とアクション」として関係機関と協力し進めています。

基本方針
1

住民の医療需要が変化しても
適切な医療が受けられること

- ・市内医療資源の最適な配分に向けた医療機関との連携強化
- ・医療提供体制の充実に向けた新たな政策的対応の検討
- ・市外医療機関との連携

医療従事者が誇りを持って働ける
持続可能な地域医療

基本方針
2

- ・医療従事者の労働環境改善、育成機会の創出など
- ・医療従事者間のコミュニケーション改善
- ・医療従事者の確保

基本方針
3

子どもを産み育てやすいまちを目指した
出産・子育てサポート体制の整備

- ・周産期や小児医療に関する不安解消に向けた出産や子育てサポート体制の充実

地域での自立した生活に寄り添う
基盤の整備

基本方針
4

- ・地域包括ケアシステム構築に向けた医療分野の関与強化
- ・住民目線に立った説明の強化

ドクターカーによる救急搬送

ドクターカーは救急外来と同じような処置ができる機材を搭載し、医師や看護師が乗り込んで出動します。コンビニエンスストアの駐車場などで傷病者を搬送している救急車と合流し、搬送先の病院に到着するまで車内で救急診療を行うことができます。市では、令和3年12月に倉敷中央病院と高梁消防署の間でドクターカーを活用した外傷者の救急搬送の運用を開始しました。



倉敷中央病院のドクターカー